

認知症地域支援事業の取り組み

10月5日

湖南省認知症地域推進事業 映画会・講演会 「ぼけますから、 よろしくおねがいします」

甲西文化ホールにて「ぼけますから、よろしくおねがいします。～おかえりお母さん～」の上映会と、この映画を制作された、主人公ご夫婦の奥の娘さんである信友直子監督の講演会を行いました。

映画は、認知症を発症したお母さんの介護、看取りと、その後100歳のお父さんが一人でイキイキと地域の人の支えの中、暮らしを継続されている姿が描かれていました。

家族愛が描かれていて感動的でした。

上映後、信友監督より、認知症の母の介護を通じて、孤立せず地域包括支援センターや介護サービス、地域との助け合いの大切さを、経験をもとに語られました。介護は家族が抱え込むものではなく、笑顔で過ごすための方法を探ることが大切だと教えられました。



12月4日

「認知症と共に、 自分らしく生きる」講演会

南草津けやきクリニック副院長・水口病院非常勤医師の高橋淳先生をお招きして、「認知症と共に、自分らしく生きる」をテーマにご講演いただきます。

認知症は、早期発見・早期対応、そして地域や家族などの環境が大切です、安心して過ごせることで進行を遅らせることができると言われています。高橋先生から、認知症になっても、いつまでも、自分らしく生きることについて一緒に学びましょう！

事前申し込み制となっていますので、お手数をおかけしますが、ご参加いただけるのをお待ちしております。



10月3日 理念研修の開催

牧ノ原やまばと学園理事長の長澤道子氏に、職員向けに講演をいただきました。やまばと学園は、今年創立55年を迎える静岡県牧之原市にある法人です。近江ちいろば会とのつながりは、キリスト教社会事業同盟の一員でキリスト教理念に基づいて経営が行われています。

やまばと学園のめざすもの

- ・重度知的障害と呼ばれる人々を中心とした「共同体」をつくりだそうとしている。
- ・周りの人たちの間に愛が流れているときに、この子供たちは本当に幸せになります。

モットー

- ・子どもたちとともに
- ・職員とともに
- ・地域の人々とともに

などの話をお話しいただきました。また 理念研修会に先立ち、経営幹部の方々と半日意見交換の時間をもてました。相互交流を通して、お互いに高め合っていきたいと願っています。



100歳のお祝い

～みんなで長生きしよう！～

30年前、出来立てのピスガこうせいに1番にご入居くださった立岡ぬい様が5月に100歳を迎えられました。70歳でご入居され、100歳で丸30年。ピスガこうせいと共に歩いてくださったことに心から感謝です。

「100歳のお祝いは盛大にしてね！」とご本人から常々リスクエストがあり、入居者の皆様と「ませとき!!」と心を込めて盛大なお祝いの会を企画・開催しました。湖南省長もお祝いに来て下さり、大勢の仲間にもまれた100歳のお祝いの会。ご本人の想像を超えた盛大な、そして愛情のある会だったようです。立岡様からは「みなさん、長生きしないと損ですよ～！こんなに皆さんに祝ってもらえるなんて…(涙)」と。「長生きしないと損」、お祝いの会以降、ピスガこうせいでは立岡様のこの言葉が入居者の皆様の中で合言葉となっています。その合言葉が願いとなり、そして叶えられていきますように!!



近江ちいろば会30周年誌

「志をつなぐ ちいろばのバトン30年」発刊

近江ちいろば会の創業30周年を記念して、30周年誌を制作しました。コンセプトは「人の思いとつながり」。人がどのような思いで事業運営にかかわり、そしてその思いがどのようにつながっていったのかを中心にまとめました。

創業者の近江ちいろば会開設に至る経緯、開設後の歩み、経営危機からの回復、職員の思いなどが分かりやすく記述されています。

是非一度ご一読いただければ幸いです。

発刊にあたりご尽力いただきましたキリスト新聞社、執筆者佐光紀子氏に感謝申し上げます。



寄付金・後援会費 感謝報告

2025年4月1日～2025年9月30日 [順不同・敬称略]

認定NPO法人 喜房会
川口 洋平
日本キリスト教団水口教会
株式会社滋賀リンクアリス
株式会社放夢 山崎 秀樹
京都紫明税理士法人
後宮 俊夫・松代ご親族一同
西八條 敬洪・久江 木村 アサ・宇野 豊

後宮 敬爾・森口 とも子
八子 忠明・美代子
堀添 朋子
新田 晃一
藤田 孝子
滝澤 文雄
辻 康
鈴木 真志
大野 佳子

後宮 周子
伊勢戸 敏信
奈良 響夫
道場 義子
中田 匡美
大門 義和
藤田 恭子
松山 克子

五味 由紀子
杉山 モト子
和田 がほる
野村 昌代
宇田川 潔
家形 日出
平野 正
下岡 一夫
足立 タツ子

中道 悦子
新井 純
江島 礼子
竹澤 克彦
大石 孝太郎
森川 和義

2024年度の決算報告

貸借対照表(全施設合計) 2025年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	772,329,007	流動負債	87,469,242
固定資産	1,205,548,475	固定負債	85,225,535
(基本財産)	787,195,141	負債の部合計	172,694,777
(その他の固定資産)	418,353,334		
		純資産の部	
		基本金	92,980,024
		国庫補助金等特別積立金	326,678,012
		その他の積立金	58,920,235
		次期繰越活動増減差額	1,326,604,434
		(うち当期活動増減差額)	113,999,414
		純資産の部合計	
		負債及び純資産の部合計	1,805,182,705
資産の部合計	1,977,877,482	負債及び純資産の部合計	1,977,877,482

事業活動計算書 2024年4月1日～2025年3月31日 (単位:円)

勘定科目	当年度決算額	勘定科目	当年度決算額
サービス活動収益計	944,263,814	特別収益計	5,371,000
サービス活動費用計	833,827,930	特別費用計	6,108,059
増減の部		特別増減差額	-737,059
サービス活動増減差額	110,435,884	当期活動増減差額	113,999,414
サービス活動外収益計	9,029,060	前期繰越活動増減差額	1,204,277,819
サービス活動外費用計	4,728,471	当期末繰越活動増減差額	1,318,277,233
増減の部		基本金取崩額	0
サービス活動外増減差額	4,300,589	その他の積立金取崩額	38,327,201
経常増減差額	114,736,473	その他の積立金積立額	30,000,000
		次期繰越活動増減差額	1,326,604,434

財産目録 2025年3月31日現在 (単位:円)

流動資産	772,329,007	流動負債	87,469,242
固定資産	1,205,548,475	固定負債	85,225,535

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい / ほだいじデイサービスセンター / ほだいじホームヘルパーステーション / ほだいじ居宅介護支援センター / グループホームほだいじ / 中央デイサービスセンターしんあい / ほだいじみんなの家 / みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプラザセンター、ライフサポート) / ほだいじ訪問看護ステーション / デイケアの家おしどり / ゆめとまの家おしどり / ふれあいの家おしどり / 食堂

ピスガからの風 第63号

2025年10月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
https://chiiroba.jp/



2025年度の活動

早いもので2025年度も半年が過ぎました。物価高、人材不足で医療・介護業界は厳しい現実に直面しています。収入面においても国で定められた公定価格の為に、付加価値を付けても価格を上げることはできないのです。多くの事業所がジレンマを感じられていると思います。

このような中ですが、近江ちいろば会はお陰様で、創業30周年を迎えることが出来ました。1995年9月に京都の世光教会の牧師であった後宮俊夫氏がこれからの高齢者の尊厳を守りたいとの思いで、設立したのです。お金も権力も持ち合わせていなかった一牧師が多くの支援者の願いに応じて設立でき30年を迎えることが出来たのは多くの皆様、職員の力の賜物と感謝申し上げます。

30年の間には、いろいろな苦難もありましたが、基本理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」に忠実に理念経営を実践してきた

ことが、今日につながったのではと思います。これからの10年、何を目標として法人は歩いていくのが問われています。

- ①在宅で出来る限りお住まいいただけるように事業の強化をしていきます。
- ②業界をリードする法人として「地域ケア研究所」を設立し新しい取り組みを発信します。
- ③外国人人材採用・育成を強化します。外国人登録機関開設を試みます。
- ④地域共生社会の育成に貢献します。子供食堂、フレイル予防教室、認知症啓発活動などに積極的に関わります。
- ⑤ICT導入などを通して、効率的で働きやすい職場を創設していきます。



理事長 森口 茂

近江ちいろば会30周年祝賀会を開催しました

2025年9月12日

クサツエストピアホテルでご来賓25名職員125名合計150名の方にご参加いただき盛大にお祝いすることができました。

当日は理事長の挨拶の後、ご来賓を代表して湖南省長松浦加代子様にご祝辞を頂戴して祝賀会が始まりました。

湖笛の会の皆様によるすばらしいフルートの演奏、永年勤続表彰で5名の方々が表彰され、30年の歩みをDVDで鑑賞し、職員バンド「ちいろば」による演奏で大盛り上がりでした。

美味しい食事と楽しい会話で職場の仲間と心む時間を過ごすことが出来ました。

30年間の歩みの中で、経営難もあり厳しい現実もありましたが、多くの皆様の支援と職員の力を合わせることで乗り切ることが出来ました。感謝申し上げます。

これからの時代どのように法人を維持、成長させていくのか難しい舵取りが求められますが、基本理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」に軸足を置いて一丸となって乗り切っていきたいと思ひます。



Instagram



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい

OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人 近江ちいろば会



facebook

夏まつり

2025年7月26日(土)

今年のテーマ

「情熱、舞い上げれ!30年目の夏祭り」

の通り、皆さまの熱気と笑顔に満ちた、素晴らしい一日となりました。

今年は創立30周年の節目の年ということもあり、準備段階から例年にも増して気合いが入っていました。



スタッフによる司会から始まり、グループホームの皆さまによるミュージックケア、松山克子様によるフルート演奏、そして「ちいろばズ」の演奏や飛び入りカラオケなど、様々な企画で会場は大いに盛り上がりました。特に抽選会では、景品が当たるたびに大きな歓声が上がり、会場の一体感を感じることができました。

当日は、ケアハウスやグループホームのご利用者様、ご家族の皆様、そして地域の皆様と共に、大変賑やかな時間を過ごすことができました。ご来場いただいた延べ300名を超える皆様に、心より感謝申し上げます。

これからも地域に開かれた場所として、様々な交流を大切にしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



勤続10年によせて

ライフサポートみなくちみんなの家 遠藤 隆士



2002年9月、当時世光株式会社が経営しておりました「デイケアの家おしどり」に就職いたしました。そこで12年間勤務した後、ご縁をいただき2014年に近江ちいろば会へ異動いたしました。近江ちいろば会では、「デイサービスセンターみなくちみんなの家」から始まり、「ぼだいじデイサービスセンター虹」、「グループホームぼだいじ」への異動を経て、2024年3月より「ライフサポートみなくちみんなの家」にて勤務しております。

「おしどり」では先輩方に導かれる立場でしたが、近江ちいろば会では所長というリーダーの役割を拝命いたしました。その際には、「おしどり」の施設長であった森口とも子さんから「大きな心でね」という温かい言葉で送り出させていただきました。

「みなくちみんなの家」では、同年代の土岐さんや浅野さんがすでに所長を任されており、組織のリーダーとして経営数値を的確に把握し、所長として堂々と振る舞うお二人の姿に、ただただ「すごいな」と感じておりました。その中で、浅野さんからは「所長が誰よりも頑張らなければ、職員はついてこない」というリーダーの姿勢を、土岐さんからは「職員への指導は、その場ですのではなく、一度心に留めてから改めて伝える方が良い」という具体的な指導法を教えてくださいました。これも深く印象に残っています。

近江ちいろば会で4つの事業所の所長を経験させていただく中で、私自身のリーダー像も変化してまいりました。今は、職員一人ひとりの力を最大限に引き出し、チームとして目標を達成できるよう導くことこそがリーダーの役割だと考えております。

「ライフサポートみなくちみんなの家」は、着任して2年目となります。職員の情熱に支えられながら日々の業務に取り組む中で、私たちが大切にすべきことが明確になってまいりました。これまでの経験で培われてきた文化を整理し、地域の高齢者の皆様へ、一日でも長く住み慣れた家や地域で安心して過ごしていただけるよう、質の高いケアの提供に努めてまいります。

これからも「素直な心」を忘れず、新しい知識や技術を積極的に吸収し、チームとして更なる向上を目指していく所存です。

勤続10年によせて

ケアハウス 中村 勝美



私は定年退職後、新たな人生のステージとしてケアハウスで宿直員として勤務をしています。ちょうど7月で10年を迎えることができました。

私にとって未経験の職種であり、ここまで続けてこられたのも、一緒に働いている職員やあたたかく支えて下さる皆様のおかげです。いつもありがとうございます。

この10年の中で、入居者さんとの出会いと別れがたくさんありました。特に印象深かったのは、コロナ禍です。感染症対策の徹底、入居者さんの不安への対応、職員間の連携強化など、これまでにない緊張感の中で現場の一員として、どうあるべきかを考えさせられました。若い職員が頑張っている姿を見て私も非常に励まされました。

毎日、元気に健康で働ける事に感謝し、今、自分にできる事を精一杯頑張っって日々精進していきたいです。これからもよろしくお願ひ致します。

勤続10年によせて

デイサービスセンターみなくちみんなの家 西川 正子



私は自閉症の子どもを育てた経験から福祉の仕事に興味を持ち、50歳でこの業界に飛び込みました。「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」という理念に背中を押され、介護職として「ちいろば」で働き始めたのが10年前のことです。利用者さん一人ひとりと関わり、喜びや笑顔を共有する中で、これまでにないやりがいを感じました。

しかし、勤務5年目、親の介護と次男の異変が重なり、家庭は暗闇のトンネルのようでした。暴力に苦しむ息子を支えながら、仕事にも迷惑をかけてしまうのではと、退職も考えた時期でした。

そんな中、上司は私の状況を理解し、体調を気遣いながら無理のない働き方を提案してくれました。職場に自分の居場所があること、そして仲間が支えてくれたことに、心から感謝しています。

今年26歳になる息子との最も大変な6年間を乗り越えられたのは、この職場があったからです。「してもらった恩を微力ながら返していきたい」。この気持ちを胸に、今後も頑張っていきたいと思っています。

永年勤続メッセージ

勤続10年によせて

ふれあいの家おしどり 河田 かおる



振り返ってみると、何の経験もない自分にこの仕事ができるのかなという不安を抱えたまま初めた仕事でした。

あれから10年… 今日まで続けてこられたのは、多くの周りの方々の支えがあったからこそだと思います。

いつも一緒に仕事をして下さるボランティア様、スタッフの方々、そして一番はご利用者様からの「ありがとう！今日も楽しかったわ〜」、「声聞いたら元気がでたよ」の一言や笑顔に、この仕事に導かれた喜びを改めて感謝している日々です。

以前給与明細と一緒に入っていた「こころの深呼吸 気づきと癒しの言葉366」はどれも心に染み入るものばかりで、中でも「感謝と謙虚」の言葉が大好きで、迷ったり悩んだりした時に手帳から取り出してそっと見返しています。

「ひとり一人を大切に」「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」の理念を心に刻んで、これからも少しずつでも成長しながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。

勤続10年によせて

中央デイサービスセンターしんあい 小原 瑠璃子



このたびは10年勤続の表彰を賜り、ありがとうございます。

思い出すと10年前は、20周年創立記念行事に出席させて頂き、永年勤続の方が表彰されているのを見て「すごいな〜」と思っていましたが、それから10年も月日が過ぎたのかと驚いています。

しんあいでの思い出を振り返ると色々な事が思い出されます。私が勤めた当初のしんあいは、家庭的な雰囲気と手作りを大切にされており、はじめて「わらび餅」を作った時は感動しました。鍋にわらび粉・砂糖・水を入れ、焦がさないように、ひたすらかき混ぜる作業。その作業を、ご利用者様と一緒にしている時間は、貴重なものでした。

一期一会を繰り返して、時々、別れに寂しさを感じる事もありますが、そのたびに「出会う時間」の大切さを実感します。

また、経験を通して学ぶ事も増えるなかで認知症ケアへの対応に悩む時もあり、自分では理解できていると思っていても、色々な方と関わっていると、まだまだ自分は”井の中の蛙”であると反省する日々です。しかし、”されど空の深さを知る”ことも目標に、今後も精進していきたいです。

勤続10年によせて

グループみなくちみんなの家 池田 咲綾



初めての就職、初めての介護業務で右も左も分からない状態で、沢山の先輩方のご教授により学ばせて頂き、今思えばあっという間の10年だったような気がします。

グループホームでの勤務は大変な事ももちろんありますが、温かい気持ちになることも沢山ありました。入社して間もなく、出勤した際に入居者さんに言ってもらった「おかえり」という言葉が今でも深く印象に残っています。グループホームを自分の家のように、職員や他の入居者さんと家族のように接しておられた方でした。職員という立場ではありますが、入居者さんが毎日過ごすグループホームでの立ち居振る舞いについて、入居者さんの安全を守りながら居心地良く気を遣わない空間作りについて、先輩方はもちろん入居者さんからも教わることは沢山ありました。

介護の仕事に携わりまだ10年ではありますが、身体介護技術だけではなく人との関わり方について考えることの多い、とても難しい職種だと思っています。

これからも専門性を高めていけるよう精進していきたいと思っています。